

# 言葉が必要とされない時代

雑貨店経営 松岡 慎治

(千葉市稲毛区 47)

私は店を営んでいるが、店で会話をする客が少なくなった。探している商品が見つからなければ店員に聞いていた時代は去り、そのまま店を後にする客も多い。会計の時、「ありがとう」の言葉を口にする客がいて、周りはびっくりする。携帯プレーヤーをイヤホンで聴きながら会計を済ませる客にも慣れてきた。

教育の一環なのか、幼児に一人で会計

をさせる大人も多い。お金の出し方やつり銭の受け取り方を知らない幼児を見守ることもしない大人もいて、店としては困惑する。

それでも客に不便はない。街に出れば、マニュアル化されたシジ係が丁寧に頭を下げて客を見送る。スーパーにもセルフのシジが設置される現代、言葉は必要とされなくなった。結婚しない傾向が強まっているのは、他人と話さなくても困っていないからかもしれない。